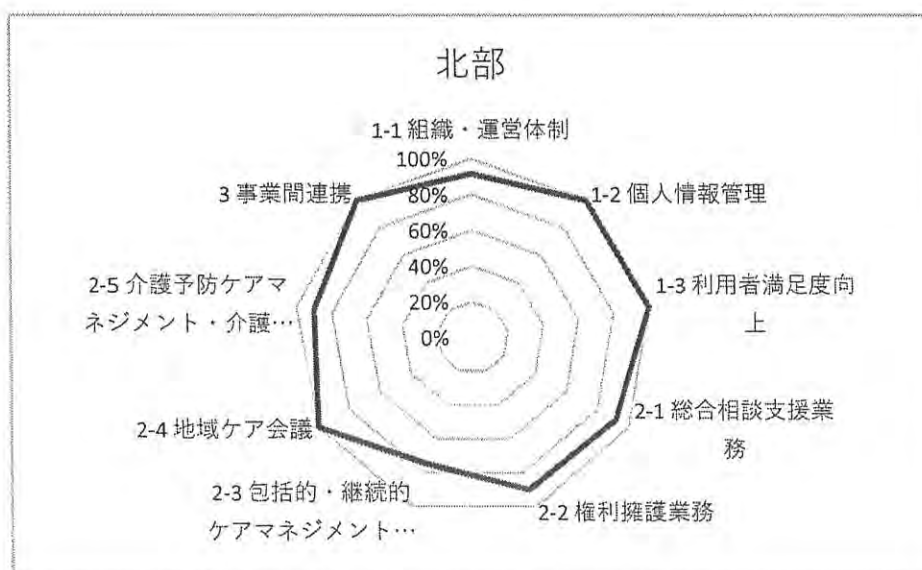


圏域 北部

法人名 (株) 千葉総合介護サービス

		北部	評価点	満点
1-1	組織・運営体制	92%	22	24
1-2	個人情報管理	100%	8	8
1-3	利用者満足度向上	100%	6	6
2-1	総合相談支援業務	92%	11	12
2-2	権利擁護業務	90%	9	10
2-3	包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	75%	9	12
2-4	地域ケア会議	100%	18	18
2-5	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	90%	9	10
3	事業間連携	100%	10	10
		93%	102	110



<総評>

**【包括的・継続的ケアマネジメント業務】**

- ・令和3年度に把握した居宅介護支援専門員のニーズを基に地域資源(インフォーマルサービス)についての勉強会を開催し、介護支援専門員に情報提供を図った。
- ・地域住民に対し、介護予防・自立支援を意識した健康教室等の取り組みが行われている。

**【地域ケア会議】**

- ・個別課題解決のため地域ケア会議を活用し、課題を明確化して参加者と共有を図れた。また、その後もモニタリングによって継続支援を行っている。
- ・市が主催した自立支援型地域ケア会議に事例を提供し、そこで出た地域課題を解決するため生活支援コーディネーターと連携して地域に働きかけを行っている。

**【介護予防ケアマネジメント・介護予防支援】**

- ・ケアプランにおいて、多様な地域の社会資源を位置づけるように意識している。

**【事業間連携】**

- ・生活支援コーディネーターや協議体と地域の高齢者のニーズや社会資源について十分に協議を行っている。

# 令和4年度富里市地域包括支援センター実績評価表

( 北部 ) 地域包括支援センター

## 1. 組織・運営体制等

### (1) 組織・運営体制

	センター指標	採点
1	市町村が定める運営方針の内容に沿って、センターの事業計画を策定しているか。	2
2	事業計画の策定に当たって、市町村と協議し、市町村から受けた指摘がある場合、これを反映しているか。	2
3	市町村の支援・指導の内容により、逐次、センターの業務改善が図られているか。	2
4	市町村が設置する定期的な連絡会合に、毎回、出席しているか。	2
5	市町村から、担当圏域の現状やニーズの把握に必要な情報の提供を受けているか。	2
6	把握した担当圏域の現状やニーズに基づき、センターの取組における重点項目を設定しているか。	2
7	三職種(それぞれの職種の準ずる者は含まない)を配置しているか。	1
8	市町村から、年度当初までに、センター職員を対象とした研修計画が示されているか。	1
9	センターに在籍する全ての職員に対して、センターまたは受託法人が、職場での仕事を離れての研修(Off-JT)を実施しているか。	2
10	夜間・早朝の窓口を設置し、窓口(連絡先)を設置し、窓口を住民にパンフレットやホームページで周知しているか。	2
11	平日以外の窓口(連絡先)を設置し、窓口を住民にパンフレットやホームページで周知しているか。	2
12	パンフレットの配布など、センターの周知を行っているか。	2
小計		22

### (2) 個人情報の管理

13	個人情報保護に関する市町村の取扱方針に従って、センターが個人情報保護マニュアル(個人情報保護方針)を整備しているか。	2
14	個人情報が漏えいした場合の対応など、市町村から指示のあった個人情報保護のための対応を、各職員へ周知しているか。	2
15	個人情報の保護に関する責任者を配置しているか。	2
16	個人情報の持出・開示時は、管理簿への記載と確認を行っているか。	2
小計		8

### (3) 利用者満足度の向上

17	市町村の方針に沿って、苦情対応体制を整備し、苦情内容や苦情への対応策について記録しているか。	2
----	--	---

18	センターが受けた介護サービスに関する相談について、市町村に対して報告や協議を行う仕組みが設けられているか。	2
19	相談者のプライバシー確保に関する市町村の方針に沿い、プライバシーが確保される環境を整備しているか。	2
小計		6

## 2. 個別業務

### (1) 総合相談支援業務

20	地域における関係機関・関係者のネットワークについて、構成員・連絡先・特性等に関する情報をマップまたはリストで管理しているか。	2
21	相談事例の終結条件を、市町村と共有しているか。	2
22	相談事例の分類方法を、市町村と共有しているか。	2
23	1年間の相談件数を市町村に報告しているか。	2
24	相談事例の解決のために、市町村への支援を要請し、その要請に対し市町村から支援があったか	2
25	家族介護者からの相談について、相談件数や相談内容を記録等に残して取りまとめているか。	1
小計		11

### (2) 権利擁護業務

26	成年後見制度の市町村長申し立てに関する判断基準が、市町村から共有されているか。	1
27	高齢者虐待事例及び高齢者虐待を疑われる事例への対応の流れについて、市町村と共有しているか。	2
28	センターまたは市町村が開催する高齢者虐待防止に関する情報共有、議論及び報告等を行う会議において、高齢者虐待事例への対応策を検討しているか。	2
29	消費者被害に関し、センターが受けた相談内容について、消費生活に関する相談窓口または警察等と連携の上、対応しているか。	2
30	消費者被害に関する情報を、民生委員・介護支援専門員・ホームヘルパー等へ情報提供する取組を行っているか。	2
小計		9

### (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

31	担当圏域における居宅介護支援事業所のデータ(事業所ごとの主任介護支援専門員・介護支援専門員の人数等)を把握しているか。	2
32	介護支援専門員を対象にした研修会・事例検討会等の開催計画を策定し、年度当初に指定居宅介護支援事業所に示しているか。	1
33	介護支援専門員に対するアンケート・意見収集等についての市町村からの情報提供や、市町村による研修会の内容等を踏まえ、地域の介護支援専門員のニーズや課題に基づく事例検討会や、個別事例を検討する地域ケア会議等を開催しているか。	1

34	担当圏域の介護支援専門員のニーズに基づいて、多様な関係機関・関係者(例:医療機関や地域における様々な社会資源など)との意見交換の場を設けているか。	1
35	介護支援専門員が円滑に業務を行うことができるよう、地域住民に対して介護予防・自立支援に関する意識の共有を図るための出前講座等を開催しているか。	2
36	介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理・分類した上で、経年的に件数を把握しているか。	2
小計		9

#### (4) 地域ケア会議

37	地域ケア会議が発揮すべき機能、構成員、スケジュール等を盛り込んだ開催計画が市町村から示されているか。	2
38	センター主催の地域ケア会議の運営方針を、センター職員・会議参加者・地域の関係機関に対して周知しているか。	2
39	センター主催の地域ケア会議において、個別事例について検討しているか。	2
40	センター主催の地域ケア会議において、多職種と連携して、自立支援・重度化防止等に資する観点から個別事例の検討を行い、対応策を講じているか。	2
41	市町村から示された地域ケア会議における個人情報の取扱方針に基づき、センターが主催する地域ケア会議で対応しているか。	2
42	センター主催の地域ケア会議において、議事録や検討事項をまとめ、参加者間で共有しているか。	2
43	地域ケア会議で検討した個別事例について、その後の変化等をモニタリングしているか。	2
44	センター主催の地域ケア会議において、地域課題に関して検討しているか。	2
45	センター主催の地域ケア会議における検討事項をまとめたものを、市町村に報告しているか。	2
小計		18

#### (5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援

46	自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントに関し、市町村から示された基本方針を、センター職員及び委託先の居宅介護支援事業所に周知しているか。	2
47	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援のケアプランにおいて、保険給付や介護予防・生活支援サービス事業以外の多様な地域の社会資源を位置づけたことがあるか。	2
48	利用者のセルフマネジメントを推進するため、市町村から示された支援の手法を活用しているか。	1
49	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託する際の事業所選定の公平性・中立性確保のための指針が市町村から示されているか。	2
50	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託した場合は、台帳への記録及び進行管理を行っているか。	2
小計		9

### 3. 事業間連携(社会保障充実分)

51	医療関係者と合同の事例検討会に参加しているか。	2
52	医療関係者と合同の講演会・勉強会等に参加しているか。	2
53	在宅医療・介護連携推進事業における相談窓口に対し、相談を行っているか。	2
54	認知症初期集中支援チームと訪問支援対象者に関する情報共有を図っているか。	2
55	生活支援コーディネーター・協議体と地域における高齢者のニーズや社会資源について協議をしているか。	2
小計		10

合計		102
----	--	-----

評 価 基 準	
2	基準を上回っている。
1	基準
0	基準を下回っている。

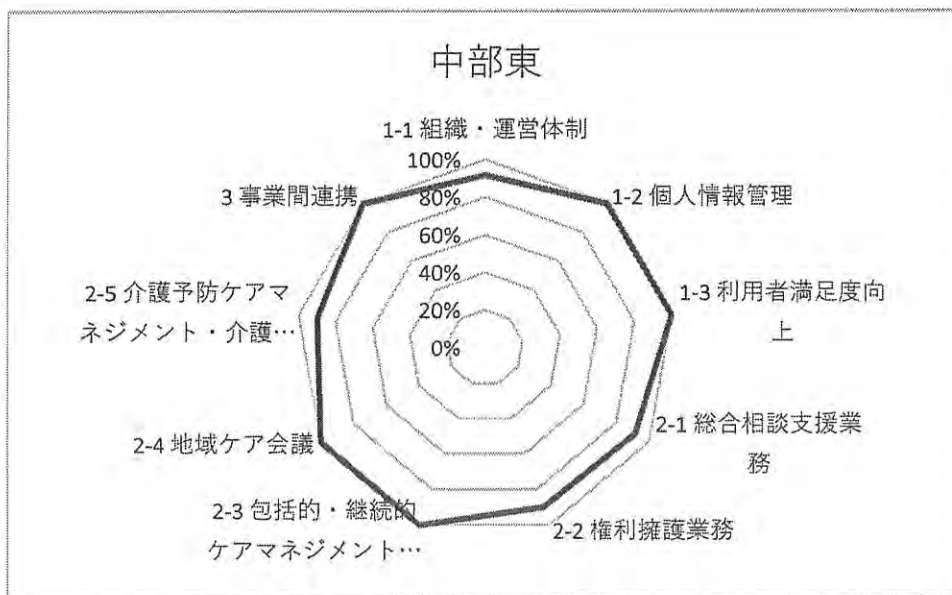


## 令和4年度 富里市委託型地域包括支援センター評価 総括表

圏 域 中部東

法人名 医療法人社団 知己会

		中部東	評価点	満点
1-1	組織・運営体制	92%	22	24
1-2	個人情報管理	100%	8	8
1-3	利用者満足度向上	100%	6	6
2-1	総合相談支援業務	92%	11	12
2-2	権利擁護業務	90%	9	10
2-3	包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	100%	12	12
2-4	地域ケア会議	100%	18	18
2-5	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	90%	9	10
3	事業間連携	100%	10	10
		96%	105	110



<総評>

### 【組織・運営体制等】

・把握した担当圏域の現状に基づいて、一般介護予防事業を令和4年度の重点項目とし、オンライン介護予防講座、オンラインちょきん体操に力を入れて取り組んだ。

・毎週定例で包括内部のミーティングを実施し、チーム支援につながるよう情報共有に努めている。

### 【包括的・継続的ケアマネジメント支援業務】

・富里市居宅介護支援事業者サービス事業者連絡会の事務局を担当し、多職種連携や各種研修を企画し、事業者のスキルアップの機会を提供した。

### 【地域ケア会議】

・地域ケア会議が発揮すべき機能、構成員等を意識して支援困難型の地域ケア会議が開催されている。また、議事録等を紙面でまとめ、適宜関係者に共有している。

### 【介護予防ケアマネジメント・介護予防支援】

・一般介護予防事業を重点項目に掲げ、末廣農場や企業などと連携した企画を検討した。ポッチャ大会やちょきん体操など、地域の新たな活動の場として地域住民から好評を博している。

# 令和4年度富里市地域包括支援センター実績評価表

( 中部東 ) 地域包括支援センター

## 1. 組織・運営体制等

### (1) 組織・運営体制

	センター指標	採点
1	市町村が定める運営方針の内容に沿って、センターの事業計画を策定しているか。	2
2	事業計画の策定に当たって、市町村と協議し、市町村から受けた指摘がある場合、これを反映しているか。	2
3	市町村の支援・指導の内容により、逐次、センターの業務改善が図られているか。	2
4	市町村が設置する定期的な連絡会合に、毎回、出席しているか。	2
5	市町村から、担当圏域の現状やニーズの把握に必要な情報の提供を受けているか。	2
6	把握した担当圏域の現状やニーズに基づき、センターの取組における重点項目を設定しているか。	2
7	三職種(それぞれの職種の準ずる者は含まない)を配置しているか。	1
8	市町村から、年度当初までに、センター職員を対象とした研修計画が示されているか。	1
9	センターに在籍する全ての職員に対して、センターまたは受託法人が、職場での仕事を離れての研修(Off-JT)を実施しているか。	2
10	夜間・早朝の窓口を設置し、窓口(連絡先)を設置し、窓口を住民にパンフレットやホームページで周知しているか。	2
11	平日以外の窓口(連絡先)を設置し、窓口を住民にパンフレットやホームページで周知しているか。	2
12	パンフレットの配布など、センターの周知を行っているか。	2
小計		22

### (2) 個人情報の管理

13	個人情報保護に関する市町村の取扱方針に従って、センターが個人情報保護マニュアル(個人情報保護方針)を整備しているか。	2
14	個人情報が漏えいした場合の対応など、市町村から指示のあった個人情報保護のための対応を、各職員へ周知しているか。	2
15	個人情報の保護に関する責任者を配置しているか。	2
16	個人情報の持出・開示時は、管理簿への記載と確認を行っているか。	2
小計		8

### (3) 利用者満足度の向上

17	市町村の方針に沿って、苦情対応体制を整備し、苦情内容や苦情への対応策について記録しているか。	2
----	--	---

18	センターが受けた介護サービスに関する相談について、市町村に対して報告や協議を行う仕組みが設けられているか。	2
19	相談者のプライバシー確保に関する市町村の方針に沿い、プライバシーが確保される環境を整備しているか。	2
小計		6

## 2. 個別業務

### (1) 総合相談支援業務

20	地域における関係機関・関係者のネットワークについて、構成員・連絡先・特性等に関する情報をマップまたはリストで管理しているか。	2
21	相談事例の終結条件を、市町村と共有しているか。	2
22	相談事例の分類方法を、市町村と共有しているか。	2
23	1年間の相談件数を市町村に報告しているか。	2
24	相談事例の解決のために、市町村への支援を要請し、その要請に対し市町村から支援があったか	2
25	家族介護者からの相談について、相談件数や相談内容を記録等に残して取りまとめているか。	1
小計		11

### (2) 権利擁護業務

26	成年後見制度の市町村長申し立てに関する判断基準が、市町村から共有されているか。	1
27	高齢者虐待事例及び高齢者虐待を疑われる事例への対応の流れについて、市町村と共有しているか。	2
28	センターまたは市町村が開催する高齢者虐待防止に関する情報共有、議論及び報告等を行う会議において、高齢者虐待事例への対応策を検討しているか。	2
29	消費者被害に関し、センターが受けた相談内容について、消費生活に関する相談窓口または警察等と連携の上、対応しているか。	2
30	消費者被害に関する情報を、民生委員・介護支援専門員・ホームヘルパー等へ情報提供する取組を行っているか。	2
小計		9

### (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

31	担当圏域における居宅介護支援事業所のデータ(事業所ごとの主任介護支援専門員・介護支援専門員の人数等)を把握しているか。	2
32	介護支援専門員を対象にした研修会・事例検討会等の開催計画を策定し、年度当初に指定居宅介護支援事業所に示しているか。	2
33	介護支援専門員に対するアンケート・意見収集等についての市町村からの情報提供や、市町村による研修会の内容等を踏まえ、地域の介護支援専門員のニーズや課題に基づく事例検討会や、個別事例を検討する地域ケア会議等を開催しているか。	2



34	担当圏域の介護支援専門員のニーズに基づいて、多様な関係機関・関係者(例:医療機関や地域における様々な社会資源など)との意見交換の場を設けているか。	2
35	介護支援専門員が円滑に業務を行うことができるよう、地域住民に対して介護予防・自立支援に関する意識の共有を図るための出前講座等を開催しているか。	2
36	介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理・分類した上で、経年的に件数を把握しているか。	2
小計		12

#### (4) 地域ケア会議

37	地域ケア会議が発揮すべき機能、構成員、スケジュール等を盛り込んだ開催計画が市町村から示されているか。	2
38	センター主催の地域ケア会議の運営方針を、センター職員・会議参加者・地域の関係機関に対して周知しているか。	2
39	センター主催の地域ケア会議において、個別事例について検討しているか。	2
40	センター主催の地域ケア会議において、多職種と連携して、自立支援・重度化防止等に資する観点から個別事例の検討を行い、対応策を講じているか。	2
41	市町村から示された地域ケア会議における個人情報の取扱方針に基づき、センターが主催する地域ケア会議で対応しているか。	2
42	センター主催の地域ケア会議において、議事録や検討事項をまとめ、参加者間で共有しているか。	2
43	地域ケア会議で検討した個別事例について、その後の変化等をモニタリングしているか。	2
44	センター主催の地域ケア会議において、地域課題に関して検討しているか。	2
45	センター主催の地域ケア会議における検討事項をまとめたものを、市町村に報告しているか。	2
小計		18

#### (5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援

46	自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントに関し、市町村から示された基本方針を、センター職員及び委託先の居宅介護支援事業所に周知しているか。	2
47	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援のケアプランにおいて、保険給付や介護予防・生活支援サービス事業以外の多様な地域の社会資源を位置づけたことがあるか。	2
48	利用者のセルフマネジメントを推進するため、市町村から示された支援の手法を活用しているか。	1
49	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託する際の事業所選定の公平性・中立性確保のための指針が市町村から示されているか。	2
50	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託した場合は、台帳への記録及び進行管理を行っているか。	2
小計		9

### 3. 事業間連携(社会保障充実分)

51	医療関係者と合同の事例検討会に参加しているか。	2
52	医療関係者と合同の講演会・勉強会等に参加しているか。	2
53	在宅医療・介護連携推進事業における相談窓口に対し、相談を行っているか。	2
54	認知症初期集中支援チームと訪問支援対象者に関する情報共有を図っているか。	2
55	生活支援コーディネーター・協議体と地域における高齢者のニーズや社会資源について協議をしているか。	2
小計		10

合計		105
----	--	-----

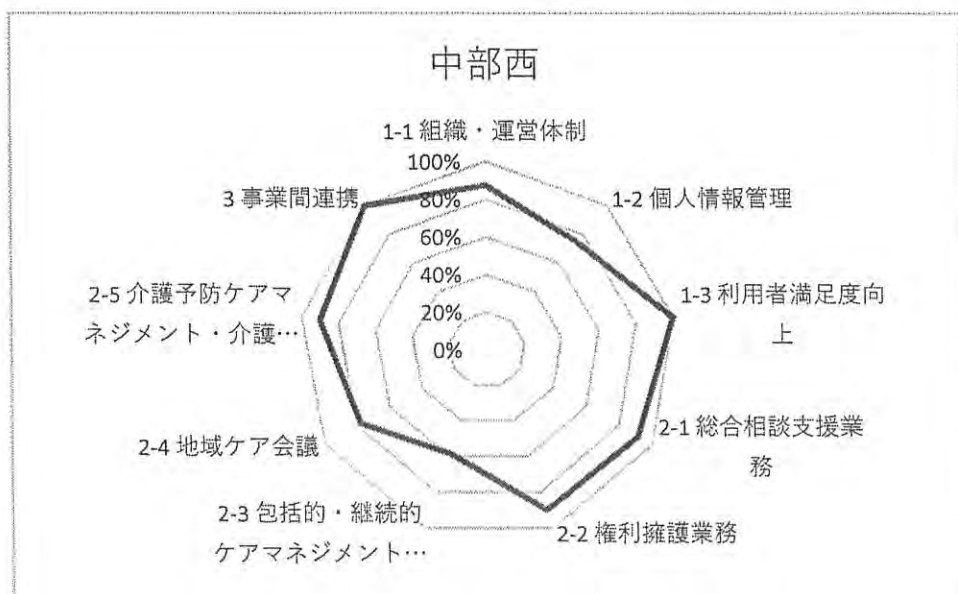
評 価 基 準	
2	基準を上回っている。
1	基準
0	基準を下回っている。

## 令和4年度 富里市委託型地域包括支援センター評価 総括表

圏 域 中部西

法人名 社会福祉法人 富里市社会福祉協議会

		中部西	評価点	満点
1-1	組織・運営体制	88%	21	24
1-2	個人情報管理	75%	6	8
1-3	利用者満足度向上	100%	6	6
2-1	総合相談支援業務	92%	11	12
2-2	権利擁護業務	90%	9	10
2-3	包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	58%	7	12
2-4	地域ケア会議	78%	14	18
2-5	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	90%	9	10
3	事業間連携	100%	10	10
		85%	93	110



<総評>

### 【総合相談支援業務】

・新規開設のため、地域住民や関係機関、事業所への周知に力を入れて取り組んだ。中部東地域包括支援センターから引き継いだケースについては、関係性を築きながら切れ目なく支援を行うことができた。センターのみで解決が困難な事例については基幹型と連携して支援にあたった。

### 【介護予防ケアマネジメント・介護予防支援】

・自立支援や地域資源の活用について意識しながらケアプランの策定を行った。地域資源の活用については生活支援コーディネーターと連携してボランティアや社会資源の情報を共有した。

### 【事業間連携】

・関係機関との連携は電話連絡や訪問、来所等によって関係づくりに努めた。新規開設の為、病院への挨拶周りを行っていたため、医療機関とは入退院や受診に関して円滑に連携を図ることができた。

# 令和4年度富里市地域包括支援センター実績評価表

( 中部西 ) 地域包括支援センター

## 1. 組織・運営体制等

### (1) 組織・運営体制

	センター指標	採点
1	市町村が定める運営方針の内容に沿って、センターの事業計画を策定しているか。	2
2	事業計画の策定に当たって、市町村と協議し、市町村から受けた指摘がある場合、これを反映しているか。	2
3	市町村の支援・指導の内容により、逐次、センターの業務改善が図られているか。	2
4	市町村が設置する定期的な連絡会合に、毎回、出席しているか。	2
5	市町村から、担当圏域の現状やニーズの把握に必要な情報の提供を受けているか。	2
6	把握した担当圏域の現状やニーズに基づき、センターの取組における重点項目を設定しているか。	1
7	三職種(それぞれの職種の準ずる者は含まない)を配置しているか。	1
8	市町村から、年度当初までに、センター職員を対象とした研修計画が示されているか。	1
9	センターに在籍する全ての職員に対して、センターまたは受託法人が、職場での仕事を離れての研修(Off-JT)を実施しているか。	2
10	夜間・早朝の窓口を設置し、窓口(連絡先)を設置し、窓口を住民にパンフレットやホームページで周知しているか。	2
11	平日以外の窓口(連絡先)を設置し、窓口を住民にパンフレットやホームページで周知しているか。	2
12	パンフレットの配布など、センターの周知を行っているか。	2
小計		21

### (2) 個人情報の管理

13	個人情報保護に関する市町村の取扱方針に従って、センターが個人情報保護マニュアル(個人情報保護方針)を整備しているか。	2
14	個人情報が漏えいした場合の対応など、市町村から指示のあった個人情報保護のための対応を、各職員へ周知しているか。	1
15	個人情報の保護に関する責任者を配置しているか。	2
16	個人情報の持出・開示時は、管理簿への記載と確認を行っているか。	1
小計		6

### (3) 利用者満足度の向上

17	市町村の方針に沿って、苦情対応体制を整備し、苦情内容や苦情への対応策について記録しているか。	2
----	--	---

18	センターが受けた介護サービスに関する相談について、市町村に対して報告や協議を行う仕組みが設けられているか。	2
19	相談者のプライバシー確保に関する市町村の方針に沿い、プライバシーが確保される環境を整備しているか。	2
小計		6

## 2. 個別業務

### (1) 総合相談支援業務

20	地域における関係機関・関係者のネットワークについて、構成員・連絡先・特性等に関する情報をマップまたはリストで管理しているか。	2
21	相談事例の終結条件を、市町村と共有しているか。	2
22	相談事例の分類方法を、市町村と共有しているか。	2
23	1年間の相談件数を市町村に報告しているか。	2
24	相談事例の解決のために、市町村への支援を要請し、その要請に対し市町村から支援があったか	2
25	家族介護者からの相談について、相談件数や相談内容を記録等に残して取りまとめているか。	1
小計		11

### (2) 権利擁護業務

26	成年後見制度の市町村長申し立てに関する判断基準が、市町村から共有されているか。	1
27	高齢者虐待事例及び高齢者虐待を疑われる事例への対応の流れについて、市町村と共有しているか。	2
28	センターまたは市町村が開催する高齢者虐待防止に関する情報共有、議論及び報告等を行う会議において、高齢者虐待事例への対応策を検討しているか。	2
29	消費者被害に関し、センターが受けた相談内容について、消費生活に関する相談窓口または警察等と連携の上、対応しているか。	2
30	消費者被害に関する情報を、民生委員・介護支援専門員・ホームヘルパー等へ情報提供する取組を行っているか。	2
小計		9

### (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

31	担当圏域における居宅介護支援事業所のデータ(事業所ごとの主任介護支援専門員・介護支援専門員の人数等)を把握しているか。	2
32	介護支援専門員を対象にした研修会・事例検討会等の開催計画を策定し、年度当初に指定居宅介護支援事業所に示しているか。	0
33	介護支援専門員に対するアンケート・意見収集等についての市町村からの情報提供や、市町村による研修会の内容等を踏まえ、地域の介護支援専門員のニーズや課題に基づく事例検討会や、個別事例を検討する地域ケア会議等を開催しているか。	1



34	担当圏域の介護支援専門員のニーズに基づいて、多様な関係機関・関係者(例:医療機関や地域における様々な社会資源など)との意見交換の場を設けているか。	1
35	介護支援専門員が円滑に業務を行うことができるよう、地域住民に対して介護予防・自立支援に関する意識の共有を図るための出前講座等を開催しているか。	2
36	介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理・分類した上で、経年的に件数を把握しているか。	1
小計		7

#### (4) 地域ケア会議

37	地域ケア会議が発揮すべき機能、構成員、スケジュール等を盛り込んだ開催計画が市町村から示されているか。	2
38	センター主催の地域ケア会議の運営方針を、センター職員・会議参加者・地域の関係機関に対して周知しているか。	2
39	センター主催の地域ケア会議において、個別事例について検討しているか。	2
40	センター主催の地域ケア会議において、多職種と連携して、自立支援・重度化防止等に資する観点から個別事例の検討を行い、対応策を講じているか。	1
41	市町村から示された地域ケア会議における個人情報取扱方針に基づき、センターが主催する地域ケア会議で対応しているか。	2
42	センター主催の地域ケア会議において、議事録や検討事項をまとめ、参加者間で共有しているか。	1
43	地域ケア会議で検討した個別事例について、その後の変化等をモニタリングしているか。	1
44	センター主催の地域ケア会議において、地域課題に関して検討しているか。	1
45	センター主催の地域ケア会議における検討事項をまとめたものを、市町村に報告しているか。	2
小計		14

#### (5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援

46	自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントに関し、市町村から示された基本方針を、センター職員及び委託先の居宅介護支援事業所に周知しているか。	2
47	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援のケアプランにおいて、保険給付や介護予防・生活支援サービス事業以外の多様な地域の社会資源を位置づけたことがあるか。	2
48	利用者のセルフマネジメントを推進するため、市町村から示された支援の手法を活用しているか。	1
49	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託する際の事業所選定の公平性・中立性確保のための指針が市町村から示されているか。	2
50	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託した場合は、台帳への記録及び進行管理を行っているか。	2
小計		9

### 3. 事業間連携(社会保障充実分)

51	医療関係者と合同の事例検討会に参加しているか。	2
52	医療関係者と合同の講演会・勉強会等に参加しているか。	2
53	在宅医療・介護連携推進事業における相談窓口に対し、相談を行っているか。	2
54	認知症初期集中支援チームと訪問支援対象者に関する情報共有を図っているか。	2
55	生活支援コーディネーター・協議体と地域における高齢者のニーズや社会資源について協議をしているか。	2
小計		10

合計		93
----	--	----

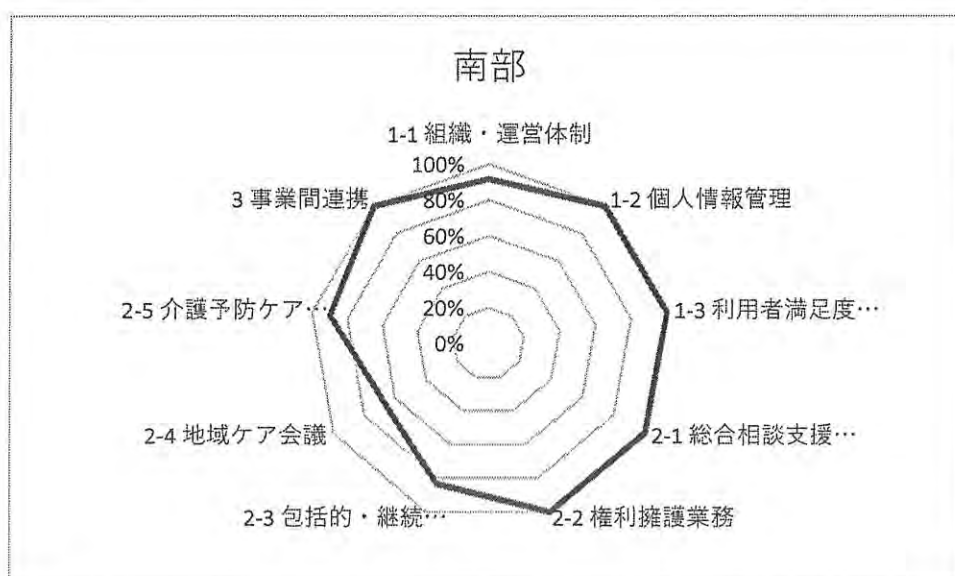
評 価 基 準	
2	基準を上回っている。
1	基準
0	基準を下回っている。

## 令和4年度 富里市委託型地域包括支援センター評価 総括表

圏 域 南部

法人名 社会福祉法人 清郷会

		南部	評価点	満点
1-1	組織・運営体制	92%	22	24
1-2	個人情報管理	100%	8	8
1-3	利用者満足度向上	100%	6	6
2-1	総合相談支援業務	100%	12	12
2-2	権利擁護業務	100%	10	10
2-3	包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	83%	10	12
2-4	地域ケア会議	67%	12	18
2-5	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	90%	9	10
3	事業間連携	100%	10	10
合計		90%	99	110



<総評>

### 【権利擁護業務】

・虐待事例、虐待が疑われる事例について円滑に対応できるよう市に報告を行い、関係者と協議しながら取り組むことができた。また、関係者との情報共有の場において高齢者虐待防止、消費者被害防止について積極的に取り組んだ。場合によっては消費生活センター等と連携し、適宜問題解決に繋げた。

### 【包括的・継続的ケアマネジメント業務】

・担当圏域の介護支援専門員のニーズに基づいて、困りごと別の具体策・連絡先の一覧表を作成し、介護支援専門員が地域住民の困りごとに対応できるよう支援に努めている。

### 【介護予防ケアマネジメント・介護予防支援】

・ケアプランには社会資源を位置づけることを意識し、利用者自身のできることを奪わないようケアプランにセルフマネジメントの視点を盛り込むように意識して取り組んでいる。

### 【事業間連携】

・生活支援コーディネーターと日頃から連携し、地域住民のニーズや社会資源について協議している。

# 令和4年度富里市地域包括支援センター実績評価表

( 南部 ) 地域包括支援センター

## 1. 組織・運営体制等

### (1) 組織・運営体制

	センター指標	採点
1	市町村が定める運営方針の内容に沿って、センターの事業計画を策定しているか。	2
2	事業計画の策定に当たって、市町村と協議し、市町村から受けた指摘がある場合、これを反映しているか。	2
3	市町村の支援・指導の内容により、逐次、センターの業務改善が図られているか。	2
4	市町村が設置する定期的な連絡会合に、毎回、出席しているか。	2
5	市町村から、担当圏域の現状やニーズの把握に必要な情報の提供を受けているか。	2
6	把握した担当圏域の現状やニーズに基づき、センターの取組における重点項目を設定しているか。	2
7	三職種(それぞれの職種の準ずる者は含まない)を配置しているか。	1
8	市町村から、年度当初までに、センター職員を対象とした研修計画が示されているか。	1
9	センターに在籍する全ての職員に対して、センターまたは受託法人が、職場での仕事を離れての研修(Off-JT)を実施しているか。	2
10	夜間・早朝の窓口を設置し、窓口(連絡先)を設置し、窓口を住民にパンフレットやホームページで周知しているか。	2
11	平日以外の窓口(連絡先)を設置し、窓口を住民にパンフレットやホームページで周知しているか。	2
12	パンフレットの配布など、センターの周知を行っているか。	2
小計		22

### (2) 個人情報の管理

13	個人情報保護に関する市町村の取扱方針に従って、センターが個人情報保護マニュアル(個人情報保護方針)を整備しているか。	2
14	個人情報が漏えいした場合の対応など、市町村から指示のあった個人情報保護のための対応を、各職員へ周知しているか。	2
15	個人情報の保護に関する責任者を配置しているか。	2
16	個人情報の持出・開示時は、管理簿への記載と確認を行っているか。	2
小計		8

### (3) 利用者満足度の向上

17	市町村の方針に沿って、苦情対応体制を整備し、苦情内容や苦情への対応策について記録しているか。	2
----	--	---

18	センターが受けた介護サービスに関する相談について、市町村に対して報告や協議を行う仕組みが設けられているか。	2
19	相談者のプライバシー確保に関する市町村の方針に沿い、プライバシーが確保される環境を整備しているか。	2
小計		6

## 2. 個別業務

### (1) 総合相談支援業務

20	地域における関係機関・関係者のネットワークについて、構成員・連絡先・特性等に関する情報をマップまたはリストで管理しているか。	2
21	相談事例の終結条件を、市町村と共有しているか。	2
22	相談事例の分類方法を、市町村と共有しているか。	2
23	1年間の相談件数を市町村に報告しているか。	2
24	相談事例の解決のために、市町村への支援を要請し、その要請に対し市町村から支援があったか	2
25	家族介護者からの相談について、相談件数や相談内容を記録等に残して取りまとめているか。	2
小計		12

### (2) 権利擁護業務

26	成年後見制度の市町村長申し立てに関する判断基準が、市町村から共有されているか。	2
27	高齢者虐待事例及び高齢者虐待を疑われる事例への対応の流れについて、市町村と共有しているか。	2
28	センターまたは市町村が開催する高齢者虐待防止に関する情報共有、議論及び報告等を行う会議において、高齢者虐待事例への対応策を検討しているか。	2
29	消費者被害に関し、センターが受けた相談内容について、消費生活に関する相談窓口または警察等と連携の上、対応しているか。	2
30	消費者被害に関する情報を、民生委員・介護支援専門員・ホームヘルパー等へ情報提供する取組を行っているか。	2
小計		10

### (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

31	担当圏域における居宅介護支援事業所のデータ(事業所ごとの主任介護支援専門員・介護支援専門員の人数等)を把握しているか。	2
32	介護支援専門員を対象にした研修会・事例検討会等の開催計画を策定し、年度当初に指定居宅介護支援事業所に示しているか。	1
33	介護支援専門員に対するアンケート・意見収集等についての市町村からの情報提供や、市町村による研修会の内容等を踏まえ、地域の介護支援専門員のニーズや課題に基づく事例検討会や、個別事例を検討する地域ケア会議等を開催しているか。	1



34	担当圏域の介護支援専門員のニーズに基づいて、多様な関係機関・関係者(例:医療機関や地域における様々な社会資源など)との意見交換の場を設けているか。	2
35	介護支援専門員が円滑に業務を行うことができるよう、地域住民に対して介護予防・自立支援に関する意識の共有を図るための出前講座等を開催しているか。	2
36	介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理・分類した上で、経年的に件数を把握しているか。	2
小計		10

#### (4) 地域ケア会議

37	地域ケア会議が発揮すべき機能、構成員、スケジュール等を盛り込んだ開催計画が市町村から示されているか。	2
38	センター主催の地域ケア会議の運営方針を、センター職員・会議参加者・地域の関係機関に対して周知しているか。	1
39	センター主催の地域ケア会議において、個別事例について検討しているか。	1
40	センター主催の地域ケア会議において、多職種と連携して、自立支援・重度化防止等に資する観点から個別事例の検討を行い、対応策を講じているか。	1
41	市町村から示された地域ケア会議における個人情報の取扱方針に基づき、センターが主催する地域ケア会議で対応しているか。	1
42	センター主催の地域ケア会議において、議事録や検討事項をまとめ、参加者間で共有しているか。	1
43	地域ケア会議で検討した個別事例について、その後の変化等をモニタリングしているか。	2
44	センター主催の地域ケア会議において、地域課題に関して検討しているか。	2
45	センター主催の地域ケア会議における検討事項をまとめたものを、市町村に報告しているか。	1
小計		12

#### (5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援

46	自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントに関し、市町村から示された基本方針を、センター職員及び委託先の居宅介護支援事業所に周知しているか。	2
47	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援のケアプランにおいて、保険給付や介護予防・生活支援サービス事業以外の多様な地域の社会資源を位置づけたことがあるか。	2
48	利用者のセルフマネジメントを推進するため、市町村から示された支援の手法を活用しているか。	2
49	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託する際の事業所選定の公平性・中立性確保のための指針が市町村から示されているか。	1
50	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託した場合は、台帳への記録及び進行管理を行っているか。	2
小計		9

3. 事業間連携(社会保障充実分)

51	医療関係者と合同の事例検討会に参加しているか。	2
52	医療関係者と合同の講演会・勉強会等に参加しているか。	2
53	在宅医療・介護連携推進事業における相談窓口に対し、相談を行っているか。	2
54	認知症初期集中支援チームと訪問支援対象者に関する情報共有を図っているか。	2
55	生活支援コーディネーター・協議体と地域における高齢者のニーズや社会資源について協議をしているか。	2
小計		10

合計		99
----	--	----

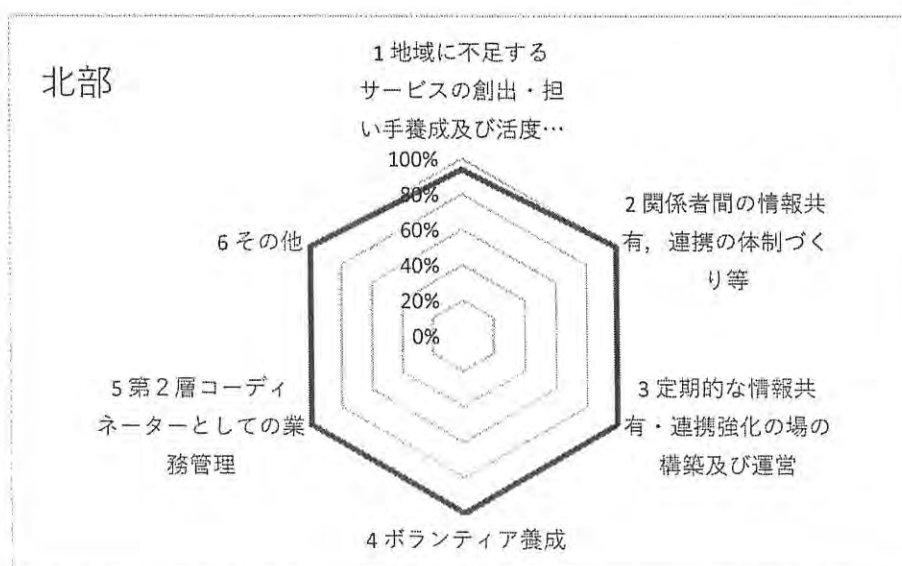
評価基準	
2	基準を上回っている。
1	基準
0	基準を下回っている。

## 令和4年度 富里市生活支援体制整備事業委託評価 総括表

圏 域 北部

法人名 (株) 千葉総合介護サービス

		北部	評価点	満点
1	地域に不足するサービスの創出・担い手養成及び活度の場の確保	94%	15	16
2	関係者間の情報共有, 連携の体制づくり等	100%	8	8
3	定期的な情報共有・連携強化の場の構築及び運営	100%	6	6
4	ボランティア養成	100%	4	4
5	第2層コーディネーターとしての業務管理	100%	16	16
6	その他	100%	2	2
		98%	51	52



### <総評>

- ・相談者のニーズに対応できるよう、日頃から社会資源の把握を行っている。地域で再開された集いの場に出向き、参加人数や開催日などの状況把握を行った。
- ・ひよし地区ささえ合い協議体にて協議を行い創出された有償の生活支援ボランティア「ひよし生活応援隊」が令和4年5月に活動開始となり、協力会員の募集や高齢者の生活支援ニーズへのマッチングを行った。
- ・創設されたお散歩サークルの自主グループ（4グループ）の各リーダーと連絡を取り合いながら後方支援を行っている。
- ・地域包括支援センターと連携し、担当圏域のカフェを会場として認知症家族の会の定期開催に取り組んだ。
- ・担当圏域において協議体を実施している。令和4年度は、移動手段を中心に話し合いが行われた。

令和4年度  
富里市生活支援体制整備事業(第2層の生活支援コーディネーター)実績評価表

( 北部 )生活支援コーディネーター

1. 地域に不足するサービスの創出・担い手養成及び活度の場の確保

番号	業 務 基 準	総合評価
1	地域資源を調査し、実態把握に努めている。	2
2	地域資源を把握し、その地域に不足しているサービスが何か把握するよう努めている。	2
3	地域に対して、その地域に不足しているサービスの説明を行うよう努めている。	2
4	サービスの創出に向けた話し合いを地域等と行うよう努めている。	2
5	担い手養成の取り組みに努めている。	2
6	地域内で「活動する場」となりえる候補地を把握するための取り組みに努めている。	2
7	把握している「活動する場の候補地」について、地域と情報を共有するよう努めている。	2
8	「活動する場の候補地」を地域が利用できるよう支援に努めている。	1
小計		15

2. 関係者間の情報共有・連携の体制づくり等

9	第2層の地域づくり、サービス創出等に関係する関係者の連絡先の把握に努めている。	2
10	連携の体制づくりのために地域資源の発掘や地域の方々や関係機関に接し、信頼関係の構築に努めている。	2
11	地域の状況に応じたアプローチが実施されている。	2
12	地域包括支援センターと連携し、事業を実施している。	2
小計		8

3. 定期的な情報共有・連携強化の場の構築及び

13	担当する圏域内での協議体の参加者となりえる地域住民等の把握に努めている。	2
14	担当する圏域内での協議体の実施に向けて、地域に働きかけを行うよう努めている。	2
15	担当する圏域内で協議体を実施している。	2
小計		6

4. ボランティア養成

16	生活支援の担い手となるボランティアの養成について関係機関と協議するよう努めている。	2
17	ボランティア養成の研修・講座等(他機関が実施するものを含む)の情報を地域住民に提供するよう努めている。	2
小計		4

5. 第2層コーディネーターとしての業務管理

18	第2層生活支援コーディネーターは、関係する制度等を理解し職務にあたっている。	2
19	第2層生活支援コーディネーターは、担当する圏域の情報等を理解し職務にあたっている。	2
20	第2層生活支援コーディネーターが行う業務の周知活動を積極的に行っている。	2
21	生活支援コーディネーターの活動を通じて知り得た個人情報 は 厳密に保護・管理している。	2
22	研修会等に積極的に参加し、生活支援コーディネーターとしての資質向上への取り組みに努めている。	2
23	地域の課題を整理したうえで、地域資源と連携協力するとともに、課題解決の方策を検討・協議している。	2
24	第1層生活支援コーディネーターと情報共有している。	2
25	必要に応じて第1層生活支援コーディネーターと連携し事業を行っている。	2
小計		16

6. その他

26	その他、富里市の生活支援体制整備の推進に向けた取り組みを実施している。	2
小計		2
合計		51

評 価 基 準	
2	基準を上回っている。
1	基準
0	基準を大幅に下回っている。

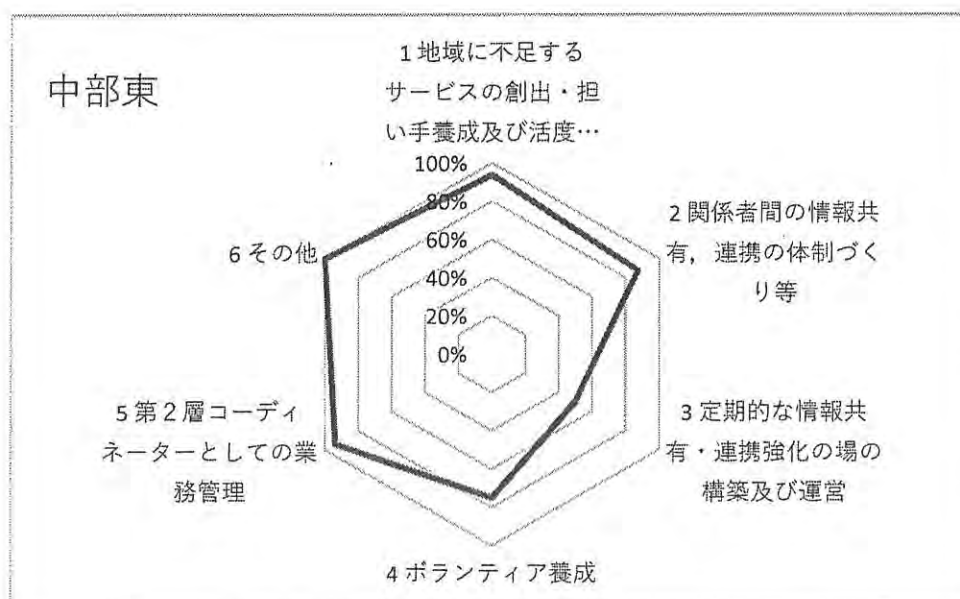


## 令和4年度 富里市生活支援体制整備事業委託評価 総括表

圏 域 中部東

法人名 医療法人社団 知己会

		中部東	評価点	満点
1	地域に不足するサービスの創出・担い手養成及び活 度の場の確保	94%	15	16
2	関係者間の情報共有, 連携の体制づくり等	88%	7	8
3	定期的な情報共有・連携強化の場の構築及び運営	50%	3	6
4	ボランティア養成	75%	3	4
5	第2層コーディネーターとしての業務管理	94%	15	16
6	その他	100%	2	2
		87%	45	52



### <総評>

- ・集いの場や民間企業を訪問し、社会資源の把握に努めた。また、連携の体制づくりのために地域の関係機関に接し、信頼関係の構築に努めた。
- ・集いの場の立ち上げの相談を受け、後方支援を行った。
- ・地域包括支援センターで把握したニーズを分析し、地域課題を解決するため介護予防に資する集いの場の創出に向けて地域に働きかけを行い、活動する場の確保や担い手となり得る関係者との協議を行った。
- ・介護保険では対応が難しい生活支援や介護予防など個別のニーズに対して、社会資源の情報提供を行い、地域包括支援センターと連携して課題解決に繋げた。
- ・担当圏域の新たな活動の場を開拓し、ちょきん体操やボッチャ大会、ギャラリーの開催など高齢者の介護予防に資する事業に繋げた。

令和4年度  
富里市生活支援体制整備事業(第2層の生活支援コーディネーター)実績評価表

( 中部東 )生活支援コーディネーター

1. 地域に不足するサービスの創出・担い手養成及び活度の場の確保

番号	業 務 基 準	総合評価
1	地域資源を調査し、実態把握に努めている。	2
2	地域資源を把握し、その地域に不足しているサービスが何か把握するよう努めている。	1
3	地域に対して、その地域に不足しているサービスの説明を行うよう努めている。	2
4	サービスの創出に向けた話し合いを地域等と行うよう努めている。	2
5	担い手養成の取り組みに努めている。	2
6	地域内で「活動する場」となりえる候補地を把握するための取り組みに努めている。	2
7	把握している「活動する場の候補地」について、地域と情報を共有するよう努めている。	2
8	「活動する場の候補地」を地域が利用できるよう支援に努めている。	2
小計		15

2. 関係者間の情報共有・連携の体制づくり等

9	第2層の地域づくり、サービス創出等に関係する関係者の連絡先の把握に努めている。	2
10	連携の体制づくりのために地域資源の発掘や地域の方々や関係機関に接し、信頼関係の構築に努めている。	2
11	地域の状況に応じたアプローチが実施されている。	1
12	地域包括支援センターと連携し、事業を実施している。	2
小計		7

3. 定期的な情報共有・連携強化の場の構築及び

13	担当する圏域内での協議体の参加者となりえる地域住民等の把握に努めている。	1
14	担当する圏域内での協議体の実施に向けて、地域に働きかけを行うよう努めている。	1
15	担当する圏域内で協議体を実施している。	1
小計		3

4. ボランティア養成

16	生活支援の担い手となるボランティアの養成について関係機関と協議するよう努めている。	1
17	ボランティア養成の研修・講座等(他機関が実施するものを含む)の情報を地域住民に提供するよう努めている。	2
小計		3

5. 第2層コーディネーターとしての業務管理

18	第2層生活支援コーディネーターは、関係する制度等を理解し職務にあたっている。	1
19	第2層生活支援コーディネーターは、担当する圏域の情報等を理解し職務にあたっている。	2
20	第2層生活支援コーディネーターが行う業務の周知活動を積極的に行っている。	2
21	生活支援コーディネーターの活動を通じて知り得た個人情報 は厳密に保護・管理している。	2
22	研修会等に積極的に参加し、生活支援コーディネーターとしての資質向上への取り組みに努めている。	2
23	地域の課題を整理したうえで、地域資源と連携協力するとともに、課題解決の方策を検討・協議している。	2
24	第1層生活支援コーディネーターと情報共有している。	2
25	必要に応じて第1層生活支援コーディネーターと連携し事業を行っている。	2
小計		15

6. その他

26	その他、富里市の生活支援体制整備の推進に向けた取り組みを実施している。	2
小計		2
合計		45

評 価 基 準

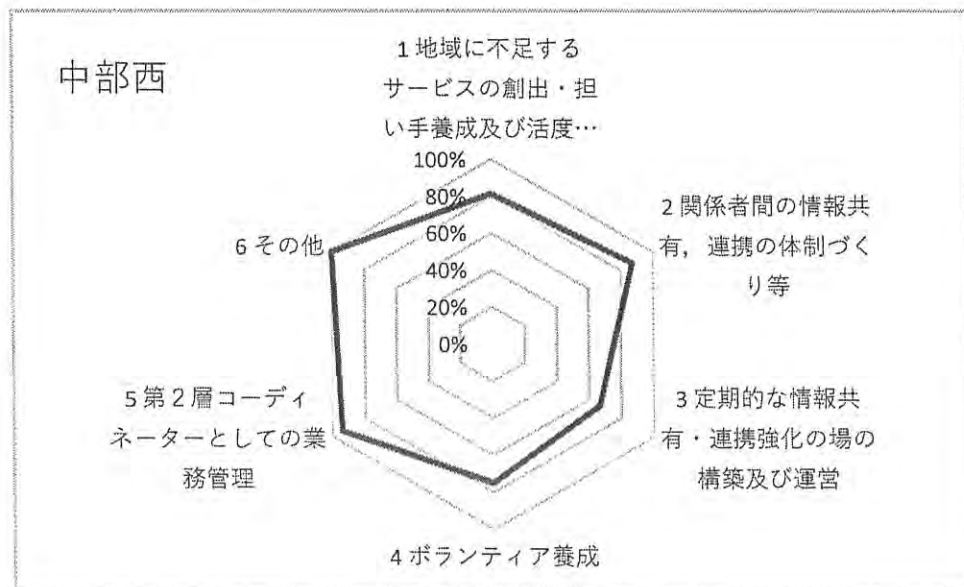
2	基準を上回っている。
1	基準
0	基準を大幅に下回っている。

## 令和4年度 富里市生活支援体制整備事業委託評価 総括表

圏 域 中部西

法人名 社会福祉法人 富里市社会福祉協議会

		中部西	評価点	満点
1	地域に不足するサービスの創出・担い手養成及び活度の場の確保	81%	13	16
2	関係者間の情報共有, 連携の体制づくり等	88%	7	8
3	定期的な情報共有・連携強化の場の構築及び運営	67%	4	6
4	ボランティア養成	75%	3	4
5	第2層コーディネーターとしての業務管理	94%	15	16
6	その他	100%	2	2
		85%	44	52



### <総評>

- ・地域で活動する集いの場に出向き、地域資源を把握しながら関係者との関係づくりに努めた。
- ・地域包括支援センターと連携し、見守り対象者を地域の通いの場に繋ぐなど、個別のニーズについて適宜対応することができた。
- ・SNS等を活用し、地域活動の情報発信を行った。また、包括だよりやHPを活用して生活支援コーディネーターの周知を図った。
- ・地域包括支援センターと連携し、高齢者の介護予防事業として、福祉センターにて地域包括支援センター主催のちょきん体操の開催に取り組んだ。
- ・担い手となり得る方を養成するため、ボランティアセンターやささえ愛サービスと連携し、チラシを配るなど周知に努めた。

令和4年度  
富里市生活支援体制整備事業(第2層の生活支援コーディネーター)実績評価表

( 中部西 )生活支援コーディネーター

1. 地域に不足するサービスの創出・担い手養成及び活度の場の確保

番号	業 務 基 準	総合評価
1	地域資源を調査し、実態把握に努めている。	2
2	地域資源を把握し、その地域に不足しているサービスが何か把握するよう努めている。	2
3	地域に対して、その地域に不足しているサービスの説明を行うよう努めている。	1
4	サービスの創出に向けた話し合いを地域等と行うよう努めている。	2
5	担い手養成の取り組みに努めている。	2
6	地域内で「活動する場」となりえる候補地を把握するための取り組みに努めている。	2
7	把握している「活動する場の候補地」について、地域と情報を共有するよう努めている。	1
8	「活動する場の候補地」を地域が利用できるよう支援に努めている。	1
小計		13

2. 関係者間の情報共有・連携の体制づくり等

9	第2層の地域づくり、サービス創出等に関係する関係者の連絡先の把握に努めている。	2
10	連携の体制づくりのために地域資源の発掘や地域の方々や関係機関に接し、信頼関係の構築に努めている。	2
11	地域の状況に応じたアプローチが実施されている。	2
12	地域包括支援センターと連携し、事業を実施している。	1
小計		7

3. 定期的な情報共有・連携強化の場の構築及び

13	担当する圏域内での協議体の参加者となりえる地域住民等の把握に努めている。	2
14	担当する圏域内での協議体の実施に向けて、地域に働きかけを行うよう努めている。	1
15	担当する圏域内で協議体を実施している。	1
小計		4

4. ボランティア養成

16	生活支援の担い手となるボランティアの養成について関係機関と協議するよう努めている。	2
17	ボランティア養成の研修・講座等(他機関が実施するものを含む)の情報を地域住民に提供するよう努めている。	1
小計		3



5. 第2層コーディネーターとしての業務管理

18	第2層生活支援コーディネーターは、関係する制度等を理解し職務にあたっている。	2
19	第2層生活支援コーディネーターは、担当する圏域の情報等を理解し職務にあたっている。	2
20	第2層生活支援コーディネーターが行う業務の周知活動を積極的に行っている。	2
21	生活支援コーディネーターの活動を通じて知り得た個人情報厳密に保護・管理している。	2
22	研修会等に積極的に参加し、生活支援コーディネーターとしての資質向上への取り組みに努めている。	1
23	地域の課題を整理したうえで、地域資源と連携協力するとともに、課題解決の方策を検討・協議している。	2
24	第1層生活支援コーディネーターと情報共有している。	2
25	必要に応じて第1層生活支援コーディネーターと連携し事業を行っている。	2
小計		15

6. その他

26	その他、富里市の生活支援体制整備の推進に向けた取り組みを実施している。	2
小計		2
合計		44

評 価 基 準

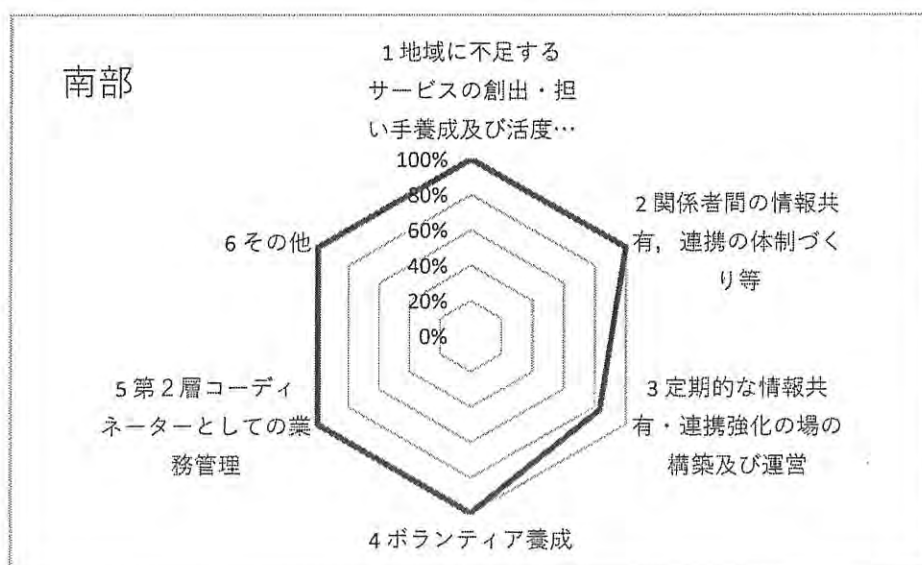
2	基準を上回っている。
1	基準
0	基準を大幅に下回っている。

## 令和4年度 富里市生活支援体制整備事業委託評価 総括表

圏 域 南部

法人名 社会福祉法人 清郷会

		南部	評価点	満点
1	地域に不足するサービスの創出・担い手養成及び活度の場の確保	100%	16	16
2	関係者間の情報共有, 連携の体制づくり等	100%	8	8
3	定期的な情報共有・連携強化の場の構築及び運営	83%	5	6
4	ボランティア養成	100%	4	4
5	第2層コーディネーターとしての業務管理	100%	16	16
6	その他	100%	2	2
		98%	51	52



### <総評>

- ・総合相談や地域との関わりの中からニーズを把握し、地域課題を分析した。把握した地域課題について地域に働きかけを行い、解決に向けて伴走するよう努めた。
- ・住民主体の体操クラブ2団体の立ち上がり支援を行った。サービスを立ち上げたいという相談には、サービスの創出まで伴走し、令和4年度は新たに4か所立ち上がった。
- ・「ひまわりプロジェクト」や「わたしのギャラリー」など、地域の高齢者に役割や生きがいを感じていただくような活動を提供することができた。
- ・担当圏域にある既存の会議体に参加し、定期的な情報共有・連携強化を図った。また、第2層の地域づくりに関わる関係機関との関係構築に努めた。
- ・地域支援事業の生活支援体制整備事業の位置づけや他事業との関係を理解した上で、生活支援コーディネーターとしての活動にあたっている。

令和4年度  
富里市生活支援体制整備事業(第2層の生活支援コーディネーター)実績評価表

( 南部 )生活支援コーディネーター

1. 地域に不足するサービスの創出・担い手養成及び活度の場の確保

番号	業 務 基 準	総合評価
1	地域資源を調査し、実態把握に努めている。	2
2	地域資源を把握し、その地域に不足しているサービスが何か把握するよう努めている。	2
3	地域に対して、その地域に不足しているサービスの説明を行うよう努めている。	2
4	サービスの創出に向けた話し合いを地域等と行うよう努めている。	2
5	担い手養成の取り組みに努めている。	2
6	地域内で「活動する場」となりえる候補地を把握するための取り組みに努めている。	2
7	把握している「活動する場の候補地」について、地域と情報を共有するよう努めている。	2
8	「活動する場の候補地」を地域が利用できるよう支援に努めている。	2
小計		16

2. 関係者間の情報共有・連携の体制づくり等

9	第2層の地域づくり、サービス創出等に関係する関係者の連絡先の把握に努めている。	2
10	連携の体制づくりのために地域資源の発掘や地域の方々や関係機関に接し、信頼関係の構築に努めている。	2
11	地域の状況に応じたアプローチが実施されている。	2
12	地域包括支援センターと連携し、事業を実施している。	2
小計		8

3. 定期的な情報共有・連携強化の場の構築及び

13	担当する圏域内での協議体の参加者となりえる地域住民等の把握に努めている。	2
14	担当する圏域内での協議体の実施に向けて、地域に働きかけを行うよう努めている。	2
15	担当する圏域内で協議体を実施している。	1
小計		5

4. ボランティア養成

16	生活支援の担い手となるボランティアの養成について関係機関と協議するよう努めている。	2
17	ボランティア養成の研修・講座等(他機関が実施するものを含む)の情報を地域住民に提供するよう努めている。	2
小計		4

5. 第2層コーディネーターとしての業務管理

18	第2層生活支援コーディネーターは、関係する制度等を理解し職務にあたっている。	2
19	第2層生活支援コーディネーターは、担当する圏域の情報等を理解し職務にあたっている。	2
20	第2層生活支援コーディネーターが行う業務の周知活動を積極的に行っている。	2
21	生活支援コーディネーターの活動を通じて知り得た個人情報 は 厳密に保護・管理している。	2
22	研修会等に積極的に参加し、生活支援コーディネーターとしての資質向上への取り組みに努めている。	2
23	地域の課題を整理したうえで、地域資源と連携協力するとともに、課題解決の方策を検討・協議している。	2
24	第1層生活支援コーディネーターと情報共有している。	2
25	必要に応じて第1層生活支援コーディネーターと連携し事業を行っている。	2
小計		16

6. その他

26	その他、富里市の生活支援体制整備の推進に向けた取り組みを実施している。	2
小計		2
合計		51

評 価 基 準

2	基準を上回っている。
1	基準
0	基準を大幅に下回っている。